

# Rainbow-Net Kawagoe

情報が瞬時に受け取れる時代。よき伝統を固持しつつ 確かな目と心で 川越地区からはじまるオピニオンメディア。

HOME ガールズトーク チャット ルネッサンス グルメ ライトアップ コミュニティ 会社案内 お問い合わせ パール・ジャパン



## 元気なシニアの地域デビュー 川越から埼玉へ、全国へ 男のゆうゆう塾

4月 30, 2017 / By MiyukiOkabe / 0 Comments / Posted in: コミュニティ / Tagged in: 名細公民館, 埼玉県共助社会づくり課, 小野澤康弘市議, 川合善明川越市長, 彩の国コミュニティ協議会, 男のゆうゆう塾



60歳定年、5年間の定年後の再就職期間を経た人でも65歳。今の60歳も65歳もそれ以上の年齢であっても、その行動力は年々たくましくなっており「アクティブシニア」という言葉は言い得て妙だ。

「元気なシニアの地域デビュー」をテーマに「元気なシニア」のパワーをもっと引き出すため昨年12月21日（水）さいたま共済会館で、埼玉県と彩の国コミュニティ協議会の主催により共助事例発表会が行われた。

事例発表者として登壇し、30分間にわたってパワーポイントを駆使し、熱弁をふるったのが斉藤誠さんだ。川越名細公民館事業としてスタートした「男のゆうゆう塾」（始動時は男の週末友遊学）。中高年の男性のための仲間づくりや生きがいコンセプト。自主運営となって13年で講座数は300を超えた。講座終了後、講座内容を公民館で発表し地域の人から評価を受けるというから、講座に賭ける意気込みもすごい。今年も講座終了後の発表の機会「なくわし友遊まつり」は川合市長や小野澤康弘市議もかけつけ盛会だった。

「いきがい」をもって毎日を生きる。それは年齢は問わないものだ。斉藤さんの地域活動はキラリと光っており、アクティブシニアの範であることは間違いない。（写真一番右が斉藤さん）

